

塩竈市指定文化財に4件が追加されました



①勝画楼 一棟

勝画楼は、年代の異なる2つの棟を接続した複合建造物です。仙台藩の歴代藩主が鹽竈神社を参拝する際の御休所として使用され、明治天皇の東北巡幸では天皇の行在所として利用されました。

江戸時代中期以降に建立された希少な建造物であるとともに、法蓮寺に関し唯一現存する遺構として貴重であり、塩竈の風致景観を構成する建造物としても重要です。

②貞享特例写 一卷

【小池曲江筆 弘化4(1847)年 鹽竈神社】

貞享特例は、綱村公が貞享2年に発した9カ条からなる振興令で、衰退していた塩竈が発展する契機となりました。この史料は、塩竈出身で仙台四大画家の一人である小池曲江が貞享特例の全文を写し取ったものです。



③東園寺碑 拓本掛け軸 一幅 残欠 二片

【残欠:安永5(1776)年 いずれも東園寺】

貞享特例の内容や、東園寺が綱村公の位牌寺となった経緯などを記したもので、綱村公と塩竈のつながりを示す史料として貴重です。碑は慶応3年の大火により壊れ、一部が残るのみですが、東園寺に拓本が伝わっており、その全容を知ることができます。



④石燈籠 二基

【寛文13(1673)年 鹽竈神社】

綱村公の治世に、塩竈と蒲生を結ぶ御舟入堀が完成しました。この燈籠は、工事に関わった仙台藩の和田半之助房長によって鹽竈神社に献じられたもので、御舟入堀の竣工時期を示す史料であるとともに、同神社に向けられた信仰を示す史料としても貴重です。



②～④は、塩竈発展の礎を築いた伊達綱村公(肯山公)の三百年遠忌に合わせて文化財保護審議会に指定を諮問したもので、いずれも綱村公と塩竈の深く永いつなかりを今に伝える貴重な史料です。

①の公開は未定。②～④の見学を希望する場合は下記まで問い合わせください。

☎ 生涯学習課学習支援係 ☎ 362-2556

受賞おめでとうございます！ 塩竈市スポーツ賞・スポーツ奨励賞

市民のスポーツへの意識の高揚に貢献した個人や団体を表彰する、塩竈市スポーツ表彰式を2月9日に開催しました。



スポーツ賞 (敬称略)

(後列右から)代理出席 大元英照(ボート)、徳永佳斗(弓道)、遠藤春翔(空道) (前列右から)佐藤晃成(空手)、酒井晃希(空道)、酒井優太(空道)、欠席 齋藤真佑(陸上)

スポーツ奨励賞 (敬称略)

(後列左から)坂本琥珀(空道)、竹田 創(ボルダリング) (前列左から)遊佐祥太(陸上)、塩釜高等学校ボート部(ボート)、欠席 齋 大輝(陸上)

☎ 生涯学習課スポーツ振興室 ☎ 362-1023

第55回観光のしおがま写真コンクール 入選者・作品展のお知らせ



自由写真部門 (敬称略)

【特選】

横田 弘 「力を合わせて」

【準特選】高橋昭男 江畑克憲

【入選】藤島純七 小野寺俊一

後藤 博 日野俊文

鈴木 勲 鈴木泰壽

【水野賞】横田 弘 【十字屋賞】佐藤幸一

【しらはた賞】日野俊文 【ベイウエーブ賞】熊谷忠昭

【えびす屋賞】鈴木泰壽 【丹六園賞】谷藤幸治

レディース部門

【入選】藤 てる 安藤浩子

ジュニア部門

【入選】穴戸波奈 佐藤愛心 高橋奈央

入選作品展示

マリンプラザ 2月26日(火)～3月17日(日)

鹽竈神社絵馬殿 3月19日(火)～4月 7日(日)

マリンゲート塩釜 4月 9日(火)～4月21日(日)

☎ 塩竈市観光案内所 ☎ 362-2525